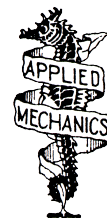


2016年6月8日

カルマン渦列とスペクトル解析

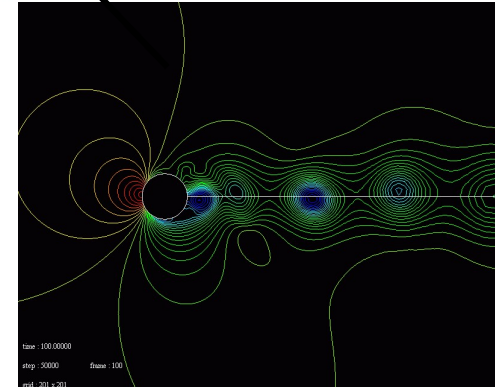
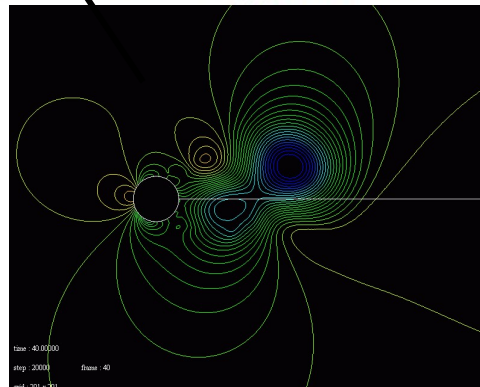
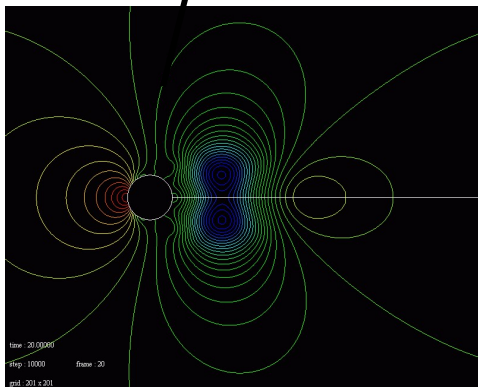
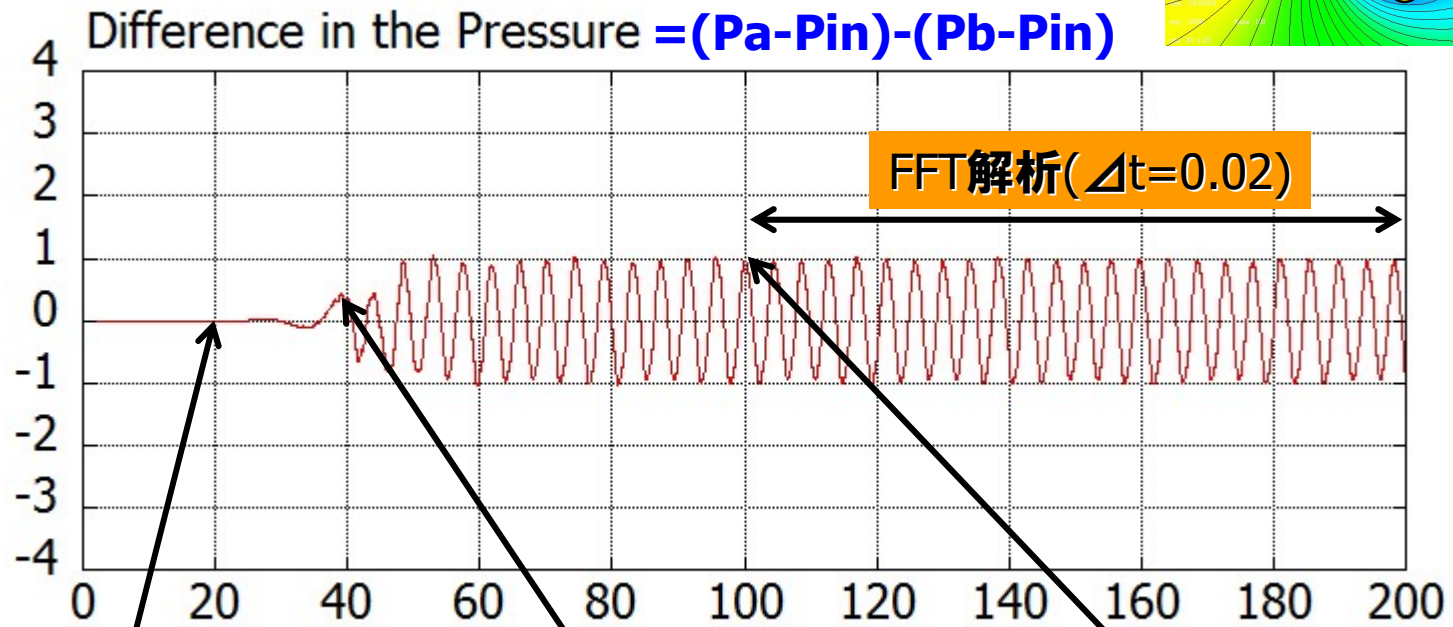
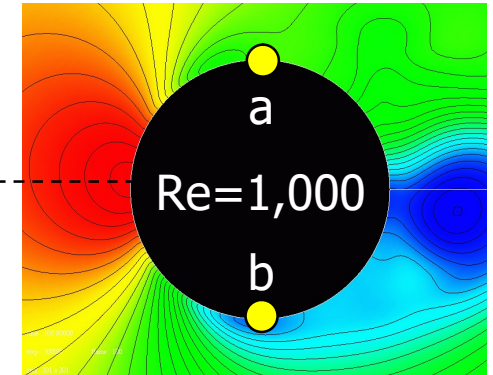
内田 孝紀

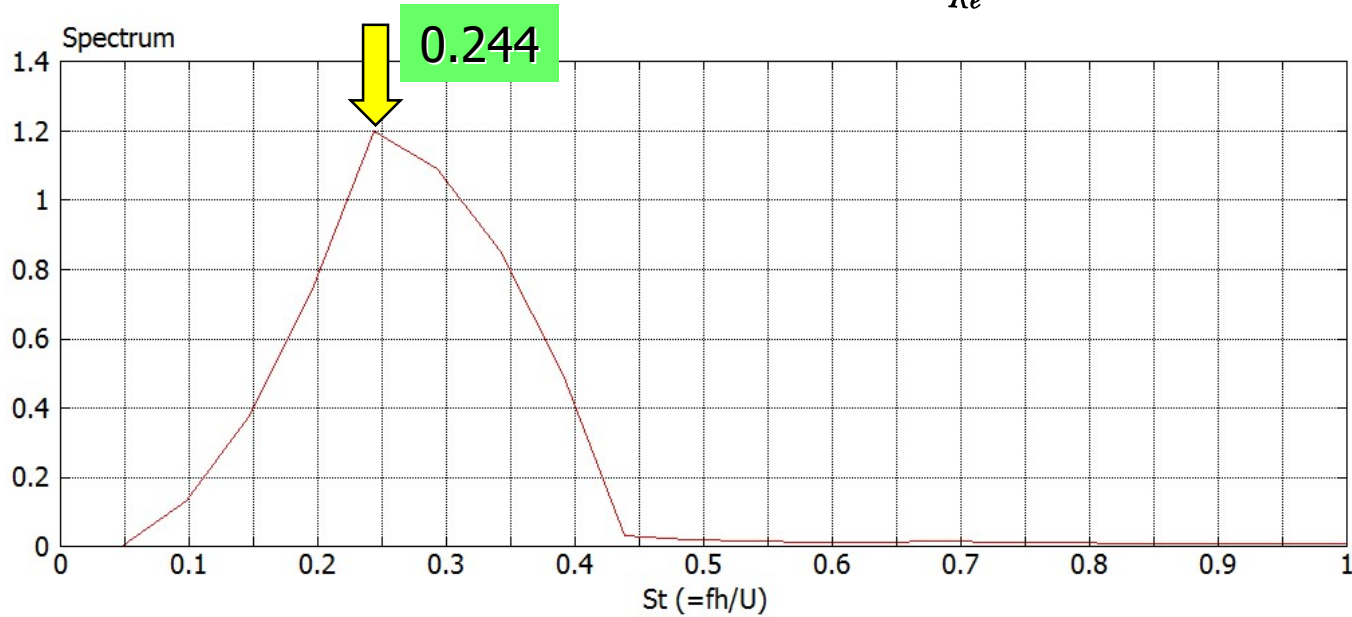
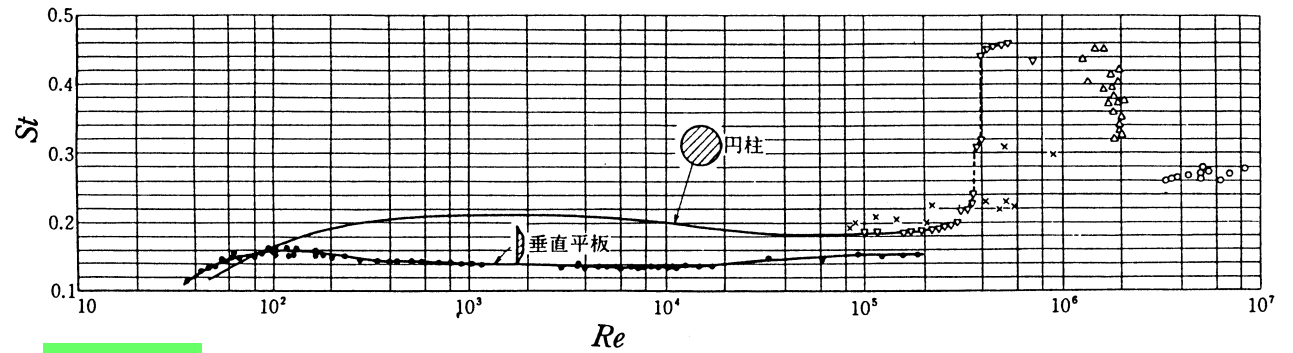
takanori@riam.kyushu-u.ac.jp



九州大学

カルマン渦列とスペクトル解析





ストローハル数(無次元周波数)

備考)

例えば、今回の数値シミュレーションを風洞実験で再現したとして、
 $Re=1000$ より、 $U=0.1(m/s)$, $h=0.15(m)$ となる。時間 $T=t(h/U)$ として有次元に変換し、
 FFT解析を行って卓越周波数 $f(Hz)$ を求めて、 $St=fh/U$ を計算しても同じ値になる。